土方巽の原風景

秋田県芸術文化協会会長　青木隆吉

幼少の頃の記憶が、ふと思い出されることがある。なんの前触れもなく、しかし実に鮮やかに、まるでタイムトンネルを抜けたかのように蘇る記憶。

昭和3年に秋田市で生まれ、育ち、20歳まで暮らした土方巽にとって、その記憶はまさに秋田の原風景とともにあるだろう。

その原風景が昭和20年代とは違っているとしても、現代の我々にとって見慣れたはずの風景が、土方の影響を強く受けた舞踏家たちの存在により異質な空間に凝固される。

美しくも妖しさをかもし出す写真の一枚一枚が、「病める舞姫」の原風景だ。

土方巽生誕九十年を記念して出版されたこの写真集は、秋田から世界へ向けて発信する優れた作品であり、土方の舞踏芸術を研究するうえで第一級の資料足りうるものだ。関係各位のご努力に敬意を表するとともに、写真集の出版を心から祝福したい。（一迅）

青木隆吉　1938年生まれ、秋田市在住1960年、多摩美術大学美術学部図案科を卒業。1995年、秋田公立美術工芸短期大学産業デザイン科助教授となる。そして1998年に同短期大学教授を附属高等学院校長と兼務する。2013年に秋田県芸術文化協会会長となり、現在に至る。